

事務事業	14021	学校図書館管理事業	担当課 課長	学校教育課 太田 成洋	担当係 担当者	学校教育係 春田 美香
計後 画期 体計 系画	施策	06 子どもが生き活きと学び、生きる力を育むまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	190 学力向上と豊かな心を育てる		款	10	教育費
				項		02小学校費、03中学校費
				目	1	学校管理費
基本事業						
法令根拠条例等			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S52 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度					

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 児童生徒の「読解力」向上のため、各校の図書室にて図書を出し出す。学校図書館管理システムを使用し、購入した児童生徒用図書を管理している。	<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)	
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 図書館管理システムの契約及び支払、図書司書の賃金支払、児童生徒用図書購入費支払	主 な 事 業 費 の 内 訳	児童用図書購入費	4,901 千円
		生徒用図書購入費	3,929 千円
		消耗品費	848 千円
			千円
		千円	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務 事業 の 目 的	① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※簡条書きで記入) 常勤の図書司書を配置し、円滑に児童生徒が図書館を利用できるよう図書館管理システムを活用している。	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値			
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 小学校児童、中学校生徒	名称	単位	27年度	28年度	29年度
		ア 図書館開館日数	日	185	177	177 (見込)
		イ 小学校図書購入冊数	冊	2,874	2,955	3,038 (見込)
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 児童・生徒の読書力を高める。	ウ 中学校図書購入冊数	冊	2,168	2,189	2,210 (見込)
		⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	名称			
名称		単位	27年度	28年度	29年度	
事務 事業 の 目 的	ア 小学校児童数	人	3,082	3,092	3,176 (見込)	
		イ 中学校生徒数	人	1,308	1,320	1,352 (見込)
	ウ				(見込)	
	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	名称				
		単位	27年度	28年度	29年度	
	ア 小学校図書貸出冊数	冊	目標 257,735 実績 295,692	296,651 299,417	303,189	
		イ 中学校図書貸出冊数	冊	目標 11,935 実績 6,613	6,674 8,056	9,814
	ウ 小学生一人当たりの年間貸出冊数		冊	目標 83.0 実績 99.3	99.6 100.0	108.0
エ 中学生一人当たりの年間貸出冊数		冊	目標 13.0 実績 6.0	6.1 7.0	7.5	
	オ		目標			
		実績				

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	
	経 費	国・県支出金、地方債等							
		受益者負担等							
		一般財源	22,607	23,093	22,806	23,430	23,430	23,430	
		合計(A)	22,607	23,093	22,806	23,430	23,430	23,430	
		(内臨時・嘱託職員人件費)	12,959	13,320	13,133	13,539			
	正職員人件費[按分](B)	326	521	593	681				
トータルコスト(A)+(B)	22,933	23,614	23,399	24,111	23,430	23,430			

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
学校図書館の管理業務を効率化するために平成17年度からシステムを導入し、図書管理が容易になった。児童生徒用図書購入費については、学校図書館の蔵書を充実させるために図書購入予算学級数に応じて算定するなど手厚くした。	生涯にわたって学習できる状況が求められる中、その基礎を養うためにも、子どものうちから読書習慣をつけることは必要とされている。	議会より、児童用図書購入費を十分に予算措置するよう求められている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	司書の資質を高めること、児童生徒に読書を習慣づけるための取り組み等を進めることで、児童生徒が読書に興味を持ち、学校図書館での貸出冊数が増えることが期待できる。	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか?※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	児童生徒の読書力を高めることにより、より意欲的に自主的に学習に取り組む基礎ができるので、結びついている。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	学校図書館を充実させることは、子どもの思考力を養い心の成長を促進し、義務教育の充実の基礎になるので、町が行うのが妥当である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	司書の資質を高めること、児童生徒に読書を習慣づけるための取り組み等を進めることで、児童生徒が読書に興味を持ち、学校図書館での貸出冊数が増えることが期待できる。
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	司書配置の廃止や図書館管理システムの使用を中止すれば、図書貸出等の業務に支障が出る。児童生徒用図書購入費を削減すれば、児童生徒が望む図書の購入ができなくなるおそれがある。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	図書館管理システム使用料や司書配置に係る人件費を削減は、学校図書管理の効率性が下がり、運営に支障が出るため成果が落ちる。また、図書購入費については児童生徒が興味を持つような本を選んで購入しており、削減する余地は無い。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

司書の資質を高めることや児童生徒に読書の習慣づけをする取り組み、児童生徒の興味を引き付けるような本の購入などに努めることで、一定の成果をあげることができた。昨年度よりも、小学校、中学校ともに子どもひとりあたりの図書貸出冊数が増えている。今後もこれらの取組を継続していく。

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	